

# EY Innovative Startup 2019 Factbook

ホットトレンド 10分野  
表彰企業 18社



Building a better  
working world

# EY Innovative Startup 2019 winners

# 18

**イノベーションを通じて社会に  
新たな価値を提供するスタートアップ**

EY Innovative Startupは、今後著しい成長が見込めるホット  
トレンド分野において、イノベーションを起こそうとするスタートアップ  
を表彰する制度です。成長性、革新性、社会性の3つの観点から  
審査し、2019年2月28日に表彰企業を発表しました。本誌は表彰  
企業18社を紹介するため、24hour IT Peopleの特集ページなどを  
編集したものです。

EY新日本有限責任監査法人  
EY Innovative Startup 運営事務局

2019年4月  
24hour IT People公開日現在



## AI

進化するAI。アプリケーションや他分野との融合に注目。

atama plus株式会社 02



## Commerce

技術・サービスの進化により、販売方法・チャネルが多様化。

quatre株式会社 03  
株式会社スマートショッピング 04



## Enterprise

新サービスが続々と登場し、事業運営に改革をもたらす。

株式会社オクト 05  
コグニティ株式会社 06  
株式会社LegalForce 07



## Fintech

金融業界に産業革命を起こし、新たな金融サービスを創造。

ブロックチェーンロック株式会社 08  
株式会社ROBOT PAYMENT 09



## Health Tech

医療分野に破壊的な変革をもたらし、世界的医療課題を解決。

株式会社T-ICU 10  
株式会社Lily MedTech 11



## IoT

あらゆるモノがデータコミュニケーションを通じて、社会に大変革を起こす。

ソナス株式会社 12



## Robot

精度の向上、技術の多様化によって市場規模拡大中。

株式会社エアロネクスト 13



## Space

宇宙規模の生活圈を構築し、持続的な世界を実現。

Space BD株式会社 14  
PDエアロスペース株式会社 15



## Tech

長く使われてきたものにこそ、変革の余地がある。

株式会社LINK-US 16



## Voice・Image

人口減少社会での広範囲な活用に期待が高まる。

Hmcomm株式会社 17  
株式会社Empath 18  
株式会社VAAK 19

# atama plus株式会社

www.atama.plus

atama+

中高生向けのAI教材「atama+」を提供。AIが一人ひとりの学習履歴・習熟度・集中度・忘却度などのデータを分析し、100パーセントカスタマイズした個人用カリキュラムを自動作成する。生徒にとっては最短ルートでの学習が可能になり、教師にとっては全生徒の学びの状況をリアルタイムで細かく把握することができ、データに基づく最適なコーチングができるようになる。また塾などでの進度に応じてカスタマイズした宿題を生徒各自のスマホに配信し、学校や塾の外での学びもサポートする。



## Q&A with



代表取締役  
稲田 大輔

### ▶ あなたのチームが作るの、どういう世界？

教育を新しくすること。それは、社会のまんなかを新しくすること。私たちは学びのあり方を進化させます。

### ▶ 今後の事業展開・目標は？

テクノロジーを活用し、クラス全員がただ同じ黒板を見る授業では不可能だった、一人ひとりに寄り添う学習を実現しています。教育のPersonalizationにより「基礎学力」の習得にかかる時間を半減させ、そのぶん、「社会でいきる力」を養う時間を増やす。それにより、自分の人生を生きる人が増えるような社会をつくっていきます。



# quatre株式会社

quatre-re.jp

プロモーションマッチングサービス「aircatalog」を運営。

「商品を使ってもらいたいメーカー」と「顧客の満足度を高めたい各種施設」を登録属性データをもとにマッチング。施設をプロモーションの場所に活用することで、ターゲット消費者の生活シーンの中にエンゲージメントの高い商品体験(PX)の機会を作り、認知、体験、高い購買率を実現できるリアルプロモーションサービス。



## Q&A with



代表取締役 CEO  
横町 享之

### ▶ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

「良質な商品体験(PX=product experience)を通して、消費者が安心して商品を購入できる世界」の実現。

### ▶ 今後の事業展開・目標は？

商品体験(PX)を軸に、様々なプラットフォーム事業を展開してまいります。メーカー、施設のプラットフォーム強化を推進していく中で、2019年は体験者のユーザーDB化を実現するアプリローンチや店舗メディアプラットフォームサービスなど多数リリースを控えております。2020年には海外への進出による、ローカライズしたaircatalogを展開し、リアルプロモーションにおけるリーディングカンパニーを目指します。

## 株式会社スマートショッピング



smartshopping.co.jp

買い物という消費活動は耐久品と消耗品に大別できる。消耗品（ティッシュペーパー、洗剤、段ボールや包装資材など）の買い物は、単価が安くリピートされやすく買い物に面白みもないという「労働」に近い。

この消耗品の購買を簡便化するソリューションとしてスマートスピーカーやボタンで購入できるデバイスが生まれてきているが、我々は一歩先の「買い物自体をなくす」ことを目指している。BtoC向けには価格比較・購買代行などの通販支援サービス、BtoB向けに自動発注を可能にするIoTソリューション、スマートマットを提供。両事業とも消費データとその分析から得られる、買い物に対する深い知見を強みとする。

## Smart mat

最速”棚卸し改革”  
乗せておくだけで在庫管理・発注自動化

いつもの買い物を便利にする  
「究極のネットコンシェルジュ」

## Smart Shopping

快適な暮らしへと誘う  
新しいショッピング体験をあなたに



## Q&amp;A with



代表取締役  
志賀 隆之



代表取締役  
林 英俊

➡ あなたのチームが作るの、という世界？  
買う。をラクに。「ゼロクリックショッピング」を実現。

➡ 今後の事業展開・目標は？  
BtoC向け通販支援サービス：アプリ化などを含めたECプラットフォーム確立に向けた機能強化。ECが主流になる中、買い物弱者を含めて全ユーザーが労働に近い買い物から開放される将来を実現する。

BtoB向けスマートマット：全シーンで使えるよう新ハード（SIM付き、一体型）の投入、海外展開を予定。誰も保持しない消費履歴データを使った分析・学習も充実。人手不足の解消、働き方改革にも貢献。

# 株式会社オクト

88oct.co.jp



建築施工現場のプロジェクト管理ツール「ANDPAD」の開発、展開。

建築・建設産業の「働く」を「幸せ」にするというミッションを掲げ、業界の人手不足解消や働き方改革を加速させるプラットフォームサービスとして事業を進める。

## ANDPAD 6つのポイント

①

### 写真・資料が 自動クラウド整理

紙やエクセルはもう不要に



②

### 現場チャットでチーム施工

電話・FAX・移動を削減



③

### 工程・検査の標準化 稼働管理・施工品質向上を実現



④

### 引合からOB管理まで 顧客管理

一気通貫システムで入力1回



⑤

### 実行予算・オンライン受発注

発注・請求ペーパーレス実現



⑥

### 施主共有・プレゼンテーション

お施主さんとの対話も楽に



## Q&A with



代表取締役社長  
稲田 武夫

### ➡ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

建築・建設産業の「働く」を「幸せ」にする。

### ➡ 今後の事業展開・目標は？

ANDPADによる建設現場のテクノロジー導入を通じて、建築・住宅産業が抱える人手不足・生産性改善に貢献をしてまいります。

# コグニティ株式会社

cognitee.com

「認知バイアスを取り除く」ためのソフトウェアを開発。独自の知識表現ルールフレームワーク「CogStructure」を使い、文脈解析に強みを持つ。

コグニティが展開する「UpSighter」は、営業トークや面談などのビジネスコミュニケーションをAI技術によって定量化して比較・解析。「できる人・組織と残念な人・組織の差」を数値で見える化。また、良いトーク構成をモデル化・採点アルゴリズムを提供することで、教育時間を削減することが可能。導入に数千万円かかる他AIと比較し、少量のサンプル数で傾向把握できる点で優位性を持つ。大塚製薬・みずほ銀行・パーソルテンプスタッフなど多岐に渡る領域の上場企業を中心に100社へ導入済で、OEM提供も開始。

解析用のデータセットに工場生産方式を取り入れ、パート・バイトを含む従業員160名全員が完全在宅勤務可能であり、欧米・アジアなどからも毎日勤務を実現している。



人工知能で、コミュニケーションの質を分析。

UpSighter  
アップ・サイター

傾向診断レポートによる  
暗黙知の見える化

オートフィードバックシステムによる  
指導コストの削減

## Q&A with



代表取締役  
河野 理愛

### ▶ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

世の中の大小様々な意思決定において、利己的な判断に陥らないための技術を誰もが使える世界。

### ▶ 今後の事業展開・目標は？

現在主に営業トークの強化のために使われているUpSighterを、採用や評価など人事領域に展開し、国内外でのプロダクト化を目指している。コグニティの技術は、これまで主観判断で終えがちだったコミュニケーションを定量化可能なため、より根拠を持った意思決定とその証拠を残すことが可能。より価値の高い分野にアプローチし、数年後の上場を経て、世界で使われるエンジンの開発を目指す。



# 株式会社LegalForce

www.legalforce.co.jp

自然言語処理技術と弁護士の専門的知見を掛け合わせるにより、法務部門・法律事務所向けに、高度なクラウド型の業務支援ソリューションを提供する。

コア機能の一つである、AIによるレビュー支援機能は、瞬時にレビュー対象の契約書をスクリーニングし、リスクを洗い出すことを可能とする国内初のAIによる契約書レビューソリューション。

経営リスクと戦う法務プロフェッショナルに、パートナーとなる“AI”を。



レビューの精度を高めつつ、契約法務を加速。

法務を支える、  
多彩な機能。



弁護士作成の  
ひな形



チェックリストの  
カスタマイズ



社員の業務状  
況を可視化

- ▶ 自動レビュー
- ▶ 条文検索
- ▶ ワードアドイン
- ▶ 類似契約書  
レコメンド
- ▶ 差分表示

## Q&A with



代表取締役CEO  
角田 望

### ➡ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

法と秩序という社会インフラを、テクノロジーと高度な法的知識で支え、公正で豊かな社会経済を実現する。

### ➡ 今後の事業展開・目標は？

法務は全ての企業において経済活動を行う上で不可欠な機能である。法務に関わる全ての法務部門・法務担当者・法律事務所向けに、従来技術では実現し得なかった高度な業務支援ソリューションを提供する。

# ブロックチェーンロック株式会社

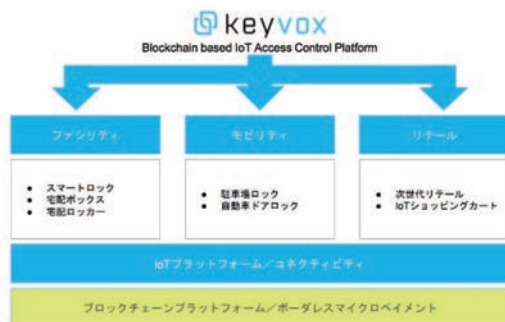
www.blockchainlock.com



スマートロックをはじめとしたIoTデバイスと、そのデバイスを有効に利用できるアプリケーションをパッケージで提供し、動産および不動産の所有者が「安全、そして簡単に物件へのアクセスをコントロールできる」ことを実現するサービスを展開する。

このサービスにより、例えばホテル・民泊・貸し会議室などのレンタルスペースビジネス運営がスマートロックを取付け、無料のウォレットアプリをダウンロードするだけで収益化することができる。

インフラにはブロックチェーンを活用し、ブロックチェーンの非改竄性、高度な暗号化技術による安全な鍵の管理、受け渡しを実現するとともに、国をまたがったマイクロペイメントを実現することで、地域経済の進化を加速させる。



## KEYVOXのラインナップ

すべての動産/不動産へのアクセスを安全に



ロックを中心とした近隣商圈エコシステム

## Q&A with



CEO

岡本 健

### ➡ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

4000年前に発明されたカギとは所有権の証明でした。そのカギをブロックチェーンとIoTの力で再発明し、カギだけで簡単にシェアリングビジネスが実現できる世界を目指します。

### ➡ 今後の事業展開・目標は？

まずは不動産向けのスマートロックから始めて、家庭用、レンタルスペース用、宿泊ビジネス用、コワーキングスペース用など多数のビジネスモデルを提供していきます。その後、新コンセプトの公共ロッカーなどのIoTのデバイスを通して、あらゆるスペースが簡単に予約、支払い、シェアリングができる世界を目指し、カギのプラットフォームを目指します。

# 株式会社ROBOT PAYMENT

www.robotpayment.co.jp



Fintech × Robotをコンセプトに、企業のお金の管理・運営を自動化する請求管理ロボ、インターネット決済代行サービスなどを提供。

企業の「利便性向上」「スピードUP」「コスト削減」「リソース不足解消」を促進させる。



## Q&A with



代表取締役  
清久 健也

### ➡ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

Robotics × Fintech で、企業のお金の管理・運用を自動化させる。

### ➡ 今後の事業展開・目標は？

Fintechによるファイナンシャル分野のIT化が加速しています。

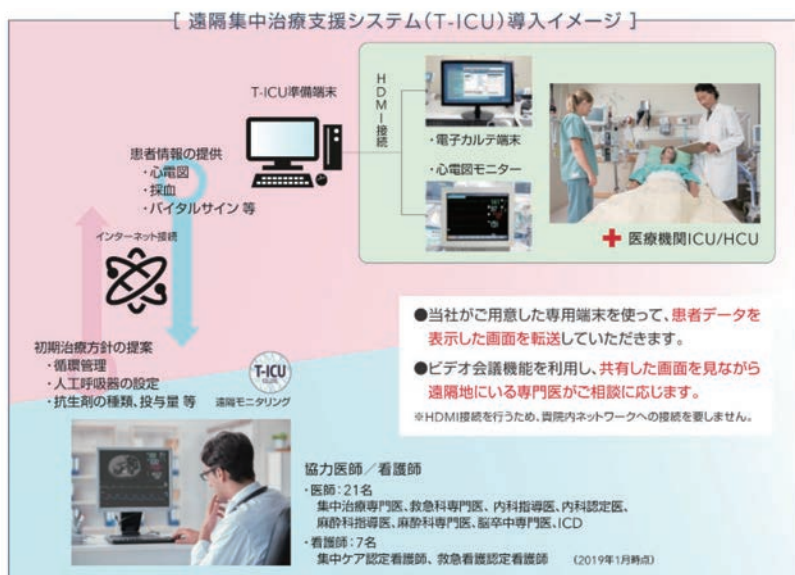
その中でも、決済・資金移動・請求業務・料金回収業務などの領域で、業務を自動化・ロボット化するサービスがどんどん登場しています。ROBOT PAYMENTでは、長年培ってきた決済サービスの知見を活かし、企業のお金まわりをロボット化する新しいソリューションを開発してまいります。

そして、企業のお金とテクノロジーをつなぐ「フィナンシャル ロボット」で、お金をつなぐ未来の夢を創造し続けます。

# 株式会社T-ICU

t-icu.co.jp/jpn

重症患者の治療が行われるICUやHCUなどの集中治療室では、集中治療専門医の関与が大きいほど診療成績が良いとされているが、日本では専門医の絶対的・相対的不足から、集中治療専門医が勤務していない施設が多く存在(日本のICUがある病院の約70%で集中治療専門医が不在)している。そこでそのような施設に対し、遠隔で生体モニター情報(心電図、X線、採血データなど)をモニタリングできる仕組みを用い、専門医チームが24時間体制で監視し、早期に的確な治療方針を提案することにより、重症患者を急変させることなく、予後の改善をサポートする。



## Q&A with



代表取締役/医師  
中西 智之

### ➡ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

私達ならば救える命があります。

“Anywhere, we care!”

### ➡ 今後の事業展開・目標は？

日本全国で専門医偏在によって死ななくても良かった命を減らすことを当社の使命として、積極展開していきます。当社の取り組みをアジア地域を中心として海外からも評価していただいております。同時に海外展開も積極的に展開していきます。さらには、遠隔「集中」治療“Tele-ICU”にとどまらず、遠隔“X”治療“Tele-medicine”の展開も考えています。



# 株式会社Lily MedTech

www.lilymedtech.com

現在、日本では女性の11人に1人が乳癌に罹患する。日本固有の特徴として40～50代で罹患率が高い。早期治療では10年生存率は90%台と高いが、転移後の治療では生存率は大きく低下する。このため乳癌検診の普及が望まれるが、検診受診率は40%に留まっている。

弊社が開発中の乳房用画像診断装置:リングエコーは、マンモグラフィが受診者に与える痛み、被曝、ハンドヘルドエコーの高スキルの操作者不足、の課題を解決する。

また、マンモグラフィのように乳腺密度が高い方においても癌発見率が低下することがない。乳腺密度は若い方ほど高くなり、40代では約7割が“高濃度乳房”に分類される。特に家計・企業の主たる労働力である60代以下の女性において乳がんの早期発見が期待できる。

製品イメージ



乳癌が乳房外に転移する前に発見できれば、死亡者の約9割(年間1万人以上)が存命し、抗癌剤による副作用軽減や乳房温存による患者のQOL向上および国全体の医療費抑制に貢献できる。

## Q&A with



代表取締役社長/CEO

東 志保

### ▶ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

「乳がんと闘う」この言葉のない世界を目指して

をキャッチコピーに、誰もが安心して快適に気軽に乳がん検診を受けられるように、検診精度が偏らない再現性の高い検査を提供します。

乳がんにかかることは避けられませんが、人生の選択肢が沢山ある希望に溢れた女性、家庭の中心にいらっしゃる母親が、発見後もこれまで通りの生活を維持し続け、乳がんによって選択肢を減らさないようにして頂くため、Lily MedTechはあらゆる女性のために在り続けたいと願っています。

### ▶ 今後の事業展開・目標は？

国内市場へのマーケットインは大体見通しが立ち始め、今後は海外展開を視野に入れ、複数の商社様と商談を行っております。弊社のリングエコーは、検査に複雑なスキルを要求せず、かつAIによる自動診断機能が搭載されるため、技師や医師のいない新興国でより威力を発揮します。まずは乳がんが社会課題となっている国々への進出を検討しております。

またいずれ治療システムを搭載し、日本でも早期発見した時点で治療の選択肢を与え、乳房の形を崩さず、抗がん剤もできるだけ使用せず、QOLを画期的に向上させる装置にしていきたいと考えております。

## ソナス株式会社

www.sonas.co.jp



センサ間の時刻同期やロスレスと言った高品質センシングに必要な要件を重視し、誰でも手軽に高品質な計測を実現できる無線センサネットワークシステムを提供する。



## Q&amp;A with



代表取締役

大原 壮太郎

➡ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

多様な産業にあまねくIoTの恩恵がもたらされる世界をつくる。

➡ 今後の事業展開・目標は？

ソナスでは、独自の次世代マルチホップ無線「UNISONet」をIoT無線のグローバル・スタンダードに育てるというビッグチャレンジを行っています。

UNISONetは安定・省電力・高速・双方向低遅延・ロスレス・時刻同期・多数収容といったIoTの要件を、革新的な転送方式で同時に実現しています。これにより、誰もが「本格的なIoTサービスを手軽に」実現可能とすることができま

# 株式会社エアロネクスト

aeronext.blue



エアロネクストは、「ドローン前提社会」と「新しい空域の経済化」の実現をビジョンに掲げ、UAV（無人航空機）やマルチコプター（通称 ドローン）の機体フレームのあるべき姿を実現する、ドローン・アーキテクチャ研究所。エアロネクストが実現を目指すドローン・アーキテクチャの中心テーマを「姿勢制御」とし、UAVにおける機体の構造を根本的に見直し、独自の重心制御技術4D GRAVITY®を開発。この独自の4D GRAVITY®をUAVの標準技術にするために強固な特許ポートフォリオを構築し、4D GRAVITY®テクノロジーライセンスビジネスのグローバル展開を視野に入れている。既に4D GRAVITY®を搭載した産業用ドローンの原理試作（プロトタイプ）を複数種類発表し、小橋工業との業務提携と複数社へのライセンスアウトにより、4D GRAVITY®搭載の産業用ドローンの量産化を計画。6月にはドローン産業の聖地である中国深圳市に現地法人を設立し、中国市場でのライセンスビジネスを本格化させる。



## Q&A with



代表取締役CEO  
田路 圭輔

### ▶ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

今は鳥と電波しか飛んでいない地上から150mまでの空域をドローンによって経済化する、つまり「ドローン前提社会」と「新しい空域の経済化」を実現します。

### ▶ 今後の事業展開・目標は？

独自の重心制御技術（4D GRAVITY®）により、ドローン機体に革命とパラダイムシフトを起こし、空飛ぶ産業ロボットとして、さらには空飛ぶモビリティとして、かつて自動車という発明が生み出した巨大なエコシステムに匹敵する産業を創造し、「ドローン前提社会」と「新しい空域の経済化」を実現します。

# Space BD株式会社

www.space-bd.com



JAXAより事業者選定されている国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」日本実験棟(「きぼう」)を活用した人工衛星打ち上げ・放出サービスおよび外部曝露試験装置を活用した実証実験支援サービスをコアビジネスに、衛星打ち上げサービス(ロケット相乗り)、宇宙関連機器輸出入サービス、また、祖業である教育領域にて宇宙飛行士訓練方法を活用した教育事業など、宇宙における総合商社(「宇宙商社®」)として事業を展開しています。

BRING DREAMS AND  
COMMERCE INTO SPACE  
宇宙に夢と商いを。

- 一貫型  
衛星打ち上げ  
サービス  
(ISS衛星放出含む)
- 宇宙機器部品・  
コンポーネント  
輸出入
- ISS実験  
プラットフォーム  
利用サービス

## Q&A with



代表取締役社長  
永崎 将利

### ▶ あなたのチームが作るのは、どういう世界?

「宇宙を産業にする」そして、「日本発で世界を代表する会社になる」

### ▶ 今後の事業展開・目標は?

人類にとっての大きなステップとして国際協調の精神で技術と知見を集約してつくりあげたISS。当社は日本におけるISS利用のリーディングカンパニーとしてその価値最大化を推し進めます。そしてISS利用を軸に地球低軌道を民間商業活動の場にすべく潤滑油となり産業化に貢献します。

# PDエアロスペース株式会社

pdas.co.jp



サブオービタル宇宙旅行、小型衛星の軌道投入サービス、極超音速旅客輸送など、宇宙環境の商業利用を目的とした高度100kmへ到達可能な「完全再使用型弾道宇宙往還機」の開発、運用を目指す。従来のロケットエンジン、ジェットエンジンとは異なる、パルス燃焼の特性を活かした、ジェット燃焼とロケット燃焼を一つのエンジンで行う“燃焼モード切替エンジン”が最大の技術特徴。(2012年特許取得)

現在は、エンジン開発と並行して、無人小型実験機を用いた飛行試験を実施中。2024年 商業運航開始を事業ターゲットとしている。

技術開発と並行して、宇宙旅行を商品化するために、メディカルチェックを含めた訓練プログラムの提供や、宇宙機が離発着する「宇宙港」の構築から運営を事業スコープに入れている。また、宇宙機運用に必要な法制面の対応も行っている。



©PD AeroSpace,  
LTD. /KOIKE  
TERUMASA DESIGN  
AND AEROSPACE

## Q&A with



代表取締役  
緒川 修治

### ▶ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

人類全ての人が“宇宙への翼”を持ち、地球を感じることができる世界。

### ▶ 今後の事業展開・目標は？

宇宙旅行、宇宙輸送を大衆化、一般化させると共に、宇宙空間へ大規模建造物を構築するためのインフラを目指す。これらを、宇宙太陽光発電、小惑星群からの鉱物調達など、エネルギーと資源を宇宙から調達する事業へ発展させる。

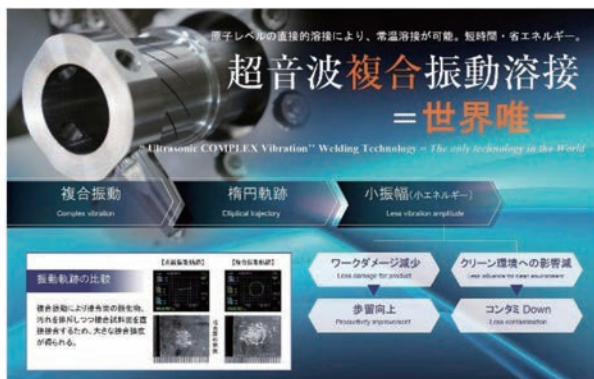
# 株式会社LINK-US

www.link-us.jp

LINK-US Co.,Ltd.

当社は世界唯一である超音波複合振動接合技術(特許取得済み)を用い、「金属を溶かさず、原子同士が引っ張り合う力で異なる金属同士をつなぐ」という画期的な金属の接合技術を開発、製品化する会社です。

当社の超音波複合振動接合技術は、従来の溶接技術における接合時のスパッタ(飛散物)による異物混入や接合強度不足による製品不具合発生の課題の解消に貢献できる他、異種金属の接合が可能であり、リチウムイオン電池やパワーデバイスなど小型、薄型、軽量型製品の安全性・品質の向上、メンテナンス費の低減や歩留まり改善による工場の生産性向上に貢献できます。また、溶融させずに同種または融点の異なる異種金属を接合させるため、大気中で介在物(ろう材)を必要としないので、環境にも優しいクリーンでナチュラルな接合法であることから、今後のグローバル市場における製造業のキーテクノロジーとなります。



## Q&A with



代表取締役  
光行 潤

### ▶ あなたのチームが作るのは、どういふ世界？

当社の世界唯一である超音波複合振動接合技術によって、製品製造工程に必要な不可欠な金属の接合における技術課題を解決し、各種製品の品質、安全性、生産性の向上に貢献することにより、日本のものづくり力を復活させ、製造業の国際競争力の向上に寄与していきたいと考えております。

### ▶ 今後の事業展開・目標は？

現在は、安全面や品質面で製造工程での異物混入をできる限り抑えたいリチウムイオン電池やパワーデバイスなどで製造上の課題解決に欠かせない技術として評価され、既に複数の大手メーカーで量産ラインへの導入が始まっております。

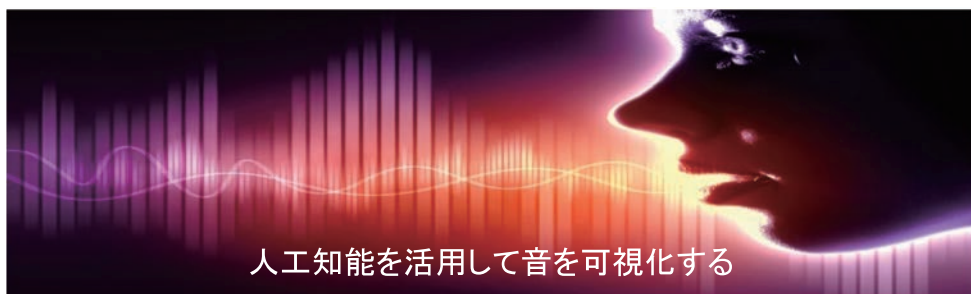
将来的には、接合技術の開発で培った知見を基に、接合だけでなく切削加工への応用や、当社が有する技術の特徴の1つである低圧力での接合を生かして、中空状態での異種金属の接合を可能にするロボットを開発し、従来の技術では実現できなかった材料や部位、構造の接合を実現し、製造業の積年の技術課題の解決と工場のスマート化といった2つの課題を同時に解決させることを目指していきます。

# Hmcomm株式会社

hmcom.co.jp

産総研のベンチャー企業として、産総研独自の音声処理技術を基盤とした要素技術の研究／開発、ソリューション／サービスの提供を行っております。

音声認識プラットフォーム「The Voice」と異音検知プラットフォーム「FAST-D」を基盤とし、“音から価値を創出し、革新的サービスを提供することにより社会に貢献する”ことをビジョンとしております。



## ▶ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

自動運転に代表する画像系認識「目」の代替は、一定の技術的ブレイクスルーはあるものの、“音声認識”や“異音検知”、つまり人の「耳」の代替は、まだまだ技術的發展途上にある。我々はこの分野で、技術的ブレイクスルーと今までに社会に存在しないソリューションプロバインドを目指す。

## ▶ 今後の事業展開・目標は？

少子高齢化、労働力不足、インフラ老朽化対策、災害・防犯等課題である我が国において人間の代替となる、又は人間以上の能力を発揮する人工知能が期待される。当社はこれからの事業展開、展望について「音」を可視化する魔術師として様々な挑戦を続けていきたい。

音声認識については、キーボード・レスな社会を実現することがミッション。特に方言についての認識精度向上策(NEDOの研究)も解決目処がたち、まずは、九州弁の社会実装を進める計画がある。方言は伝統的な美しい日本語として大切に保護されるべきであり、当社の技術が日本古来の伝統を記録し、守ることに貢献する。

異音検知についての「音の警備」を実現する。監視カメラが及ばない区域(死角や暗闇、プライバシー問題など)や宅内などの異音(悲鳴音、転倒音、衝突音など)を検知し、通報する仕組みを実現することや鉄道会社との協業で実現する車体や線路の異常を音で見えることに挑戦していく。

## Q&A with



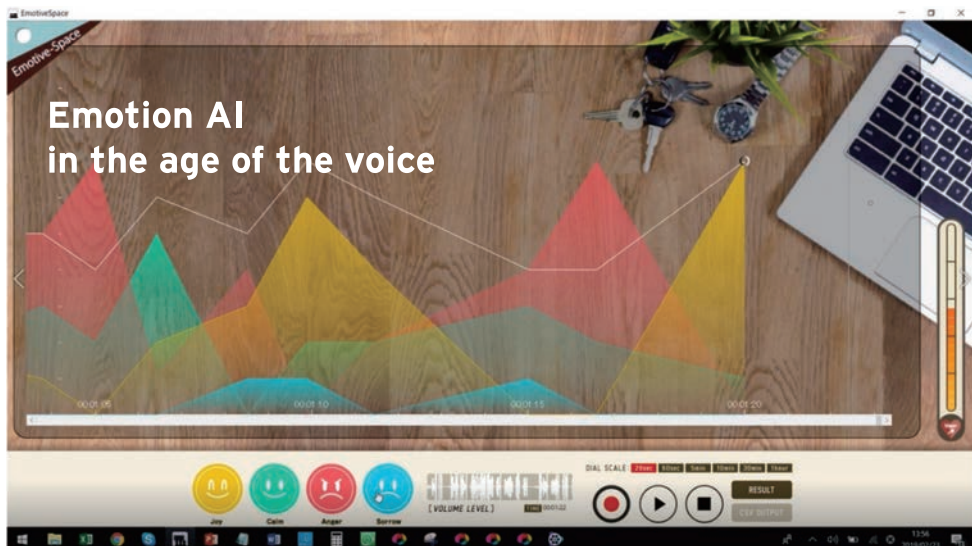
代表取締役CEO

三本 幸司

# 株式会社Empath

webempath.com/jpn

音声から気分状態を可視化するエンジン「Empath®(エンパス)」を利用し、メンタルヘルス対策やマーケティングなどに役立つアプリケーションを開発。大学との共同研究や民間企業との協業による被災地支援事業で採用されたほか、ロボティクスやコールセンターなど幅広い分野で活用されている。海外でも注目を浴び、アラブ首長国連邦内務省に正式に採用されたほか、開発者向けに提供しているWeb Empath APIは世界50か国以上で利用されている。



Empathは音声感情解析AIです。

音声の物理的特徴量を解析することで、言語に依存せずリアルタイムで喜び、平常、怒り、悲しみの4つの感情と元気を解析します。

## Q&A with



CEO

下地 貴明

### ➡ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

「共感で全ての対話を“楽”にする」

### ➡ 今後の事業展開・目標は？

スマートスピーカーを筆頭に音声インターフェイスがタッチパネルの次のコンソールになろうとしています。来たるべき音声時代に我々は音声から人の感情を理解する技「Empath」を用いて、人の心と心を繋ぎコミュニケーションコストを0に近づける世界を作りたいと考えています。そのように対話を“楽”にすることで、メンタル不調の解消、マーケティングの効率化、組織の活性化を実現してまいります。

# 株式会社VAAK

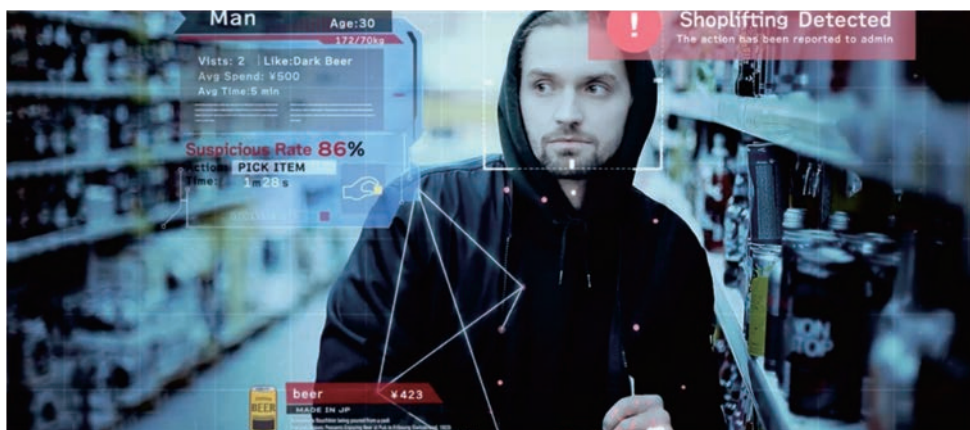
vaak.co



映像行動解析AIを強みとして、犯罪や事故を未然防止する「VAAKEYE」や、人手不足を解消する無人レジ「VAAKPAY」を開発し、グローバルな社会課題の解決を目指しています。

犯罪防止「VAAKEYE」は、店舗の万引きや、街なかの喧嘩や連れ去りなどの犯罪を検知・予測し、防止や抑止に貢献します。特に「万引き防止ソリューション」では、「不正対策のない店舗運営の実現」がVAAKの提供価値となっています。

無人レジ「VAAKPAY」は防犯カメラを用いてレジレスの購買体験を実現する無人レジシステムです。店舗運営の省人化によって、運営負担の減少や、既存手法では運営できなかった地域での店舗運営を実現しています。特に地方創生として、空き家にVAAKPAYを設置し、空き家増加による治安の悪化を防ぎ、買い物を便利にし、更にコミュニティ起点をつくる取り組みも行なっています。



## Q&A with



代表取締役社長 (CEO)

田中 遼

### ➡ あなたのチームが作るのは、どういう世界？

人工知能の眼で社会課題を解決する。

### ➡ 今後の事業展開・目標は？

今後3年で、万引き防止ソリューション「VAAKEYE」を国内外10万店舗、「VAAKPAY」5千店舗の導入を目指します。

まちの犯罪防止に貢献していくことで「犯罪や事故が未然に防がれる社会」を実現し、また無人レジや行動解析で地域の生活を便利にし、コミュニティを活性化することで「ゆたかな社会」に貢献し、「犯罪や事故のないゆたかな社会」を目指してまいります。

# EY Innovative Startup 2019 winners



**AI** | atama plus株式会社



**Commerce** | quatre株式会社



**Commerce** | 株式会社スマートショッピング



**Enterprise** | 株式会社オクト



**Enterprise** | コグニティ株式会社



**Enterprise** | 株式会社 LegalForce



**Fintech** | ブロックチェーンロック株式会社



**Fintech** | 株式会社ROBOT PAYMENT



**Health Tech** | 株式会社T-ICU



**Health Tech** | 株式会社Lily MedTech



**IoT** | ソナス株式会社



**Robot** | 株式会社エアロネクスト



**Space** | Space BD株式会社



**Space** | PDエアロスペース株式会社



**Tech** | 株式会社LINK-US



**Voice・Image** | Hmcomm株式会社



**Voice・Image** | 株式会社Empath



**Voice・Image** | 株式会社VAAK

## EYについて

EYは、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザリーなどの分野における世界的なリーダーです。私たちの深い洞察と高品質なサービスは、世界中の資本市場や経済活動に信頼をもたらします。私たちはさまざまなステークホルダーの期待に応えるチームを率いるリーダーを生み出していきます。そうすることで、構成員、クライアント、そして地域社会のために、より良い社会の構築に貢献します。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバル・ネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。詳しくは、[ey.com](http://ey.com) をご覧ください。

## EY Japanについて

EY Japanは、EYの日本におけるメンバーファームの総称です。EY新日本有限責任監査法人、EY税理士法人、EYトランザクション・アドバイザリー・サービス株式会社、EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社などから構成されています。なお、各メンバーファームは法的に独立した法人です。詳しくは[www.eyjapan.jp](http://www.eyjapan.jp) をご覧ください。

© 2019 Ernst & Young ShinNihon LLC.  
All Rights Reserved.

## ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。法人名および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

## お問い合わせ

EY新日本有限責任監査法人  
EY Innovative Startup 運営事務局  
[BD-ONE@jp.ey.com](mailto:BD-ONE@jp.ey.com)